

PORTABLE TELEPHONE

Publication number: JP2002354076

Publication date: 2002-12-06

Inventor: MITSUYA HIROTAKA

Applicant: SONY CORP

Classification:

- International: G06F13/00; H04L12/58; H04M1/00; H04M11/00;
H04Q7/38; G06F13/00; H04L12/58; H04M1/00;
H04M11/00; H04Q7/38; (IPC1-7): H04M1/00;
G06F13/00; H04L12/58; H04M11/00; H04Q7/38

- European:

Application number: JP20010162190 20010530

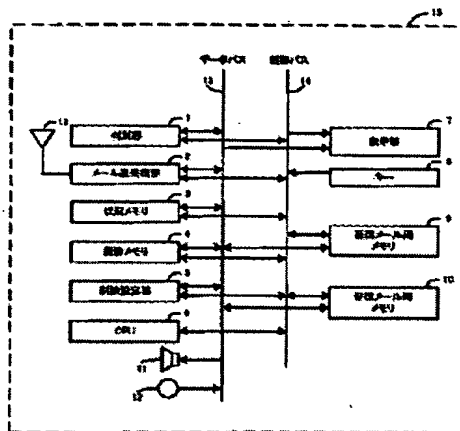
Priority number(s): JP20010162190 20010530

Report a data error here

Abstract of JP2002354076

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable telephone which controls the handling for a received mail according to user state and an attribute of the opposite party to enable an optimum handling for the received mail.

SOLUTION: There are provided memories 3 and 4, and the handling for the received mail is controlled according to the user state and the attribute of the opposite party at the reception of a mail.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-354076

(P2002-354076A)

(43) 公開日 平成14年12月6日 (2002.12.6)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
H 0 4 M 1/00		H 0 4 M 1/00	R 5 K 0 2 7
G 0 6 F 13/00	6 1 0	G 0 6 F 13/00	6 1 0 E 5 K 0 3 0
			6 1 0 Q 5 K 0 6 7
H 0 4 L 12/58	1 0 0	H 0 4 L 12/58	1 0 0 F 5 K 1 0 1
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 M 11/00	3 0 3

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-162190(P2001-162190)

(22) 出願日 平成13年5月30日 (2001.5.30)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 三矢 浩貴

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(74) 代理人 100097216

弁理士 泉 和人

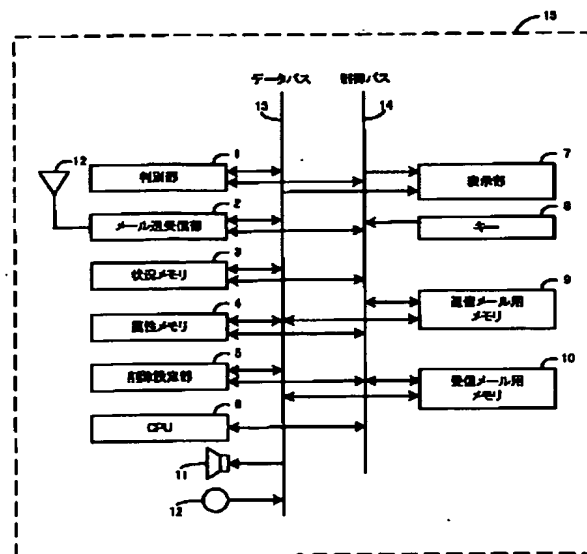
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話

(57) 【要約】

【課題】 ユーザの状況および相手の属性に対応して受信メールへの対応を制御することにより、受信メールへの最適の対応を可能にした携帯電話を提供する。

【解決手段】 ユーザの状況および相手の属性が記録されるメモリ 3, 4 を備え、メールを受信したとき、前記ユーザの状況および相手の属性によって受信メールへの対応を制御する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザの状況および相手の属性が記録されるメモリを備え、メールを受信したとき、前記ユーザの状況および相手の属性によって受信メールへの対応を制御するようにしたことを特徴とする携帯電話。

【請求項 2】 前記受信メールへの対応は、受信メールを削除するものであることを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話。

【請求項 3】 前記受信メールへの対応は、相手に返信メールを送信するものであることを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話。

【請求項 4】 前記受信メールの削除は、予めユーザが登録したアドレスからメールを受信したときはメールボックスから自動削除し、登録されていないアドレスからメールを受信したときはメールボックスに保存または自動削除するようにしたことを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話。

【請求項 5】 前記返信メールは、ユーザの状況および相手の属性に対応して用意された内容のメールであることを特徴とする請求項 3 記載の携帯電話。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、メールを受信した際にそのときの受信者の状況に応じた応答を行うことができるようにした携帯電話に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の携帯電話においては、ユーザが例えば運転中あるいは就寝中等で返信できない状態のときにメールを受信したときには、そのままメールボックスに保存されるようになっていいる。その場合、メールの送り主に対して長時間何も応答を返送しない状態が継続することになる

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように、従来はメールの送り主に対して長時間何も応答しないため、返信を待っている相手に不便をかけることになる。本発明は、上記のような課題を解決するためになされたもので、ユーザの状況および相手の属性に対応して受信メールへの対応を制御することにより、受信メールへの最適の対応を可能にした携帯電話を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するために、本発明に係る携帯電話は、ユーザの状況および相手の属性が記録されるメモリを備え、メールを受信したとき、前記状況および属性によって受信メールへの対応を制御するようにしたことを特徴とする。

【0005】 また、本発明は、前記受信メールへの対応は、受信メールを削除するものである。また、本発明は、前記受信メールへの対応は、相手に返信メールを送

信するものである。

【0006】 また、本発明は、前記受信メールの削除は、予めユーザが登録したアドレスからメールを受信したときはメールボックスから自動削除し、登録されていないアドレスからメールを受信したときはメールボックスに保存または自動削除するようにしたものである。また、前記返信メールは、ユーザの状況および相手の属性に対応して用意された内容のメールである。

【0007】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図 1 は、本発明の携帯電話の一実施の形態を示すブロック図である。図 1 において、1 は判別部、2 はメール送受信部、3 は、例えば、運転中、就寝中等のユーザの状況を記憶する状況メモリ、4 は、例えば友人、親戚、取引先等の相手（発信者）の属性を記憶する属性メモリ、5 は削除設定部、6 は CPU、7 は表示部、8 はキー、9 は通信メール用メモリ、9 は受信メール用メモリ、11 はスピーカ、12 はマイク、13 はデータバス、14 は制御バス、および 15 は携帯電話である。

【0008】 次に、図 2 に示すフローチャートに基づいて上記携帯電話におけるメール自動応答の動作を説明する。スタート（ステップ S1）で、携帯電話のユーザは、自分の状況、例えば、運転中、就寝中、勤務中、その他自分が選択した任意の状況をキー 8 で状況メモリ 3 に設定する。次に、返信メール用メモリ 9 に、ユーザの状況および相手の属性に合わせた返信内容を記録しておく（ステップ S2）。

【0009】 いま、メール送受信部 2 において、メールを受信すると（ステップ S3）、携帯電話 15 の表示部 7 に、図 3 に例示するように、メールを受信した旨あるいは日付等を表示すると共に、判別部 1 で、運転中、就寝中等の状況が設定されているか否かを判断する（ステップ S4）。状況が設定されていない場合はそのまま処理を終了し、状況が設定されている場合は相手の属性が設定されているか否かを判断し（ステップ S5）、設定されていない場合はそのまま終了し、設定されている場合はステップ S6 に進む。ステップ S6 において、ユーザの状況および相手の属性に合わせた返信メールを表示部 6 に表示すると共にこの内容をメール送受信部 2 から相手に送信する。

【0010】 図 4 に、ユーザの状況に合わせたメール応答の例、図 5 に相手の属性に合わせたメール応答の具体例を各々示している。図 4 に示すように、1. 運転中、2. 就寝中、3. 勤務中、4. その他（自分が任意選択した状況）、を状況メモリ 3 に設定する（ステップ S1）。図 2 のステップ S6 において、上記 1～4 の内容に応じた返信メール、例えば、「只今運転中。高速を走っています」との文章を表示部 6 に表示すると共に、この文章をメール送受信部 2 から相手に送信する。

3

【0011】また、図5に例示するように、1. 身内、2. 友人、3. その他（自分が任意選択した属性）、を属性メモリ4に設定する（ステップS1）。ステップS6において、上記1～3の内容に応じた返信メール、例えば1. 身内であれば、「今、そちらに向かっています。3時間位かな」との返信メールを表示部6に表示すると共にメール送受信部2から相手に送信する。また、2. 友人であれば、「今、運転中、高速走ってまーす」との返信メールを表示部6に表示すると共にメール送受信部2から相手に送信する。また、3. その他であれば、「久しぶり。また、メール書くよ」との返信メールを表示部6に表示すると共に、メール送受信部2から相手に送信する。

【0012】図6は、携帯電話のアドレス帳に登録されていないアドレスからメールが来たときの迷惑メール防止のための動作を示すフローチャートである。携帯電話がメールを受信すると（ステップS11）、これが表示部6に表示される（ステップS12）。そのメールの送信者が始めての人であるか否かを判別部1で判断し（ステップS13）、始めての場合は携帯電話のメールが自動削除に設定されているか否かを判断し（ステップS14）、自動削除に設定されている場合はそのメールを削除し（ステップS15）、処理を終了する。自動削除に設定されていない場合は、そのメールアドレスを登録するか否かを判断し（ステップS16）、Yesであれば、その新しいメールアドレスを登録し（ステップS17）、処理を終了する。ステップS16でNo（メールアドレスを登録しない）場合は、次回（以後）にかかってきた初めてのメールを削除するか否かを判断し（ステップS18）、次回に削除する場合はそのメールアドレスと削除モードをリンクさせて記憶し（ステップS19）、処理を終了する。

【0013】ステップS13において、そのメールが始めてでない場合、アドレスを削除するか否かを判断し（ステップS20）、削除しない場合は処理を終了し、削除する場合はメールアドレスを削除し（ステップS21）、処理を終了する。

【0014】

4

【発明の効果】以上、詳述したように、本発明によれば、メールを受信したときユーザの状況および相手の属性によって受信メールへの対応を制御するようにしたので、ユーザの、例えば運転中、就寝中等の、状況および相手の身内、友人等の属性に合わせて暫定的な返信あるいはメールボックスから受信メールの削除等の最適の対応が可能となり、メールを送信した相手に長時間何も応答を返送しない等の不便をかけることがなくなるという効果がある。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態の携帯電話のブロック構成を示す図である。

【図2】メール自動応答の動作を示すフローチャートである。

【図3】メールを受信したときの表示内容を示す説明図である。

【図4】状況に合わせたメール応答の一例を示す説明図である。

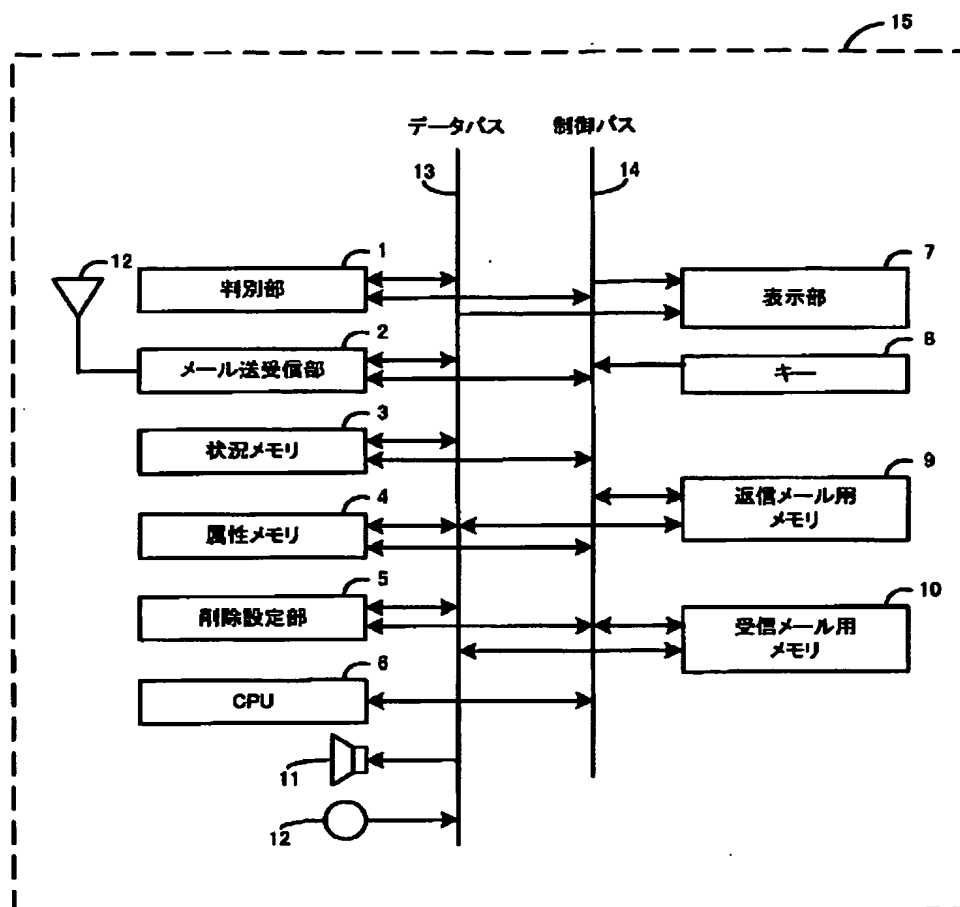
20 【図5】属性に合わせたメール応答の一例を示す説明図である。

【図6】迷惑防止の動作を示すフローチャートである。

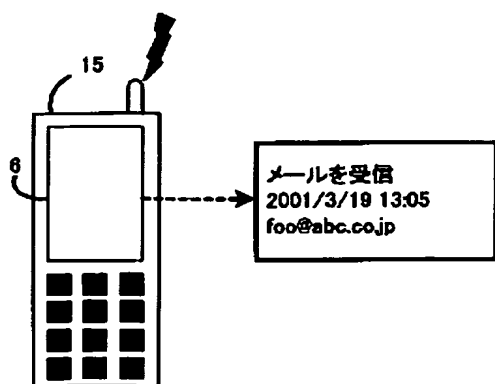
【符号の説明】

- 1 判別部
- 2 メール送受信部
- 3 状況メモリ
- 4 属性メモリ
- 5 削除設定部
- 6 CPU
- 7 表示部
- 8 キー
- 9 返信メール用メモリ
- 10 受信メール用メモリ
- 11 スピーカ
- 12 マイク
- 13 データバス
- 14 制御バス
- 15 携帯電話

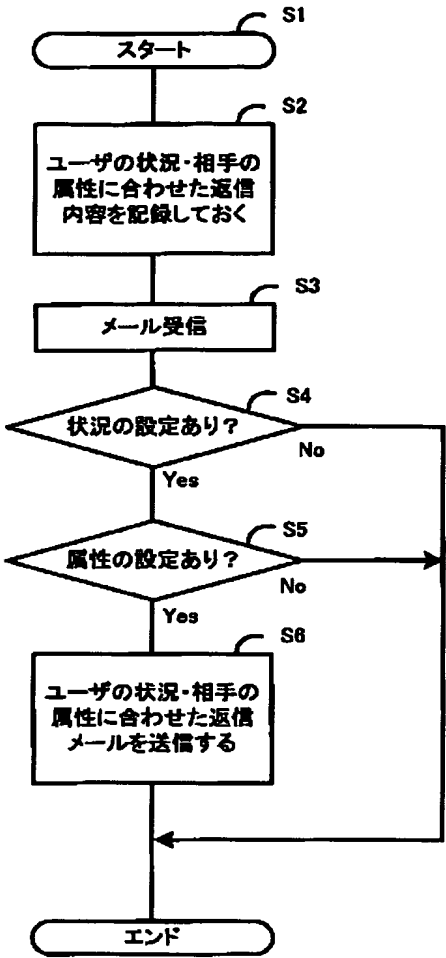
【図 1】



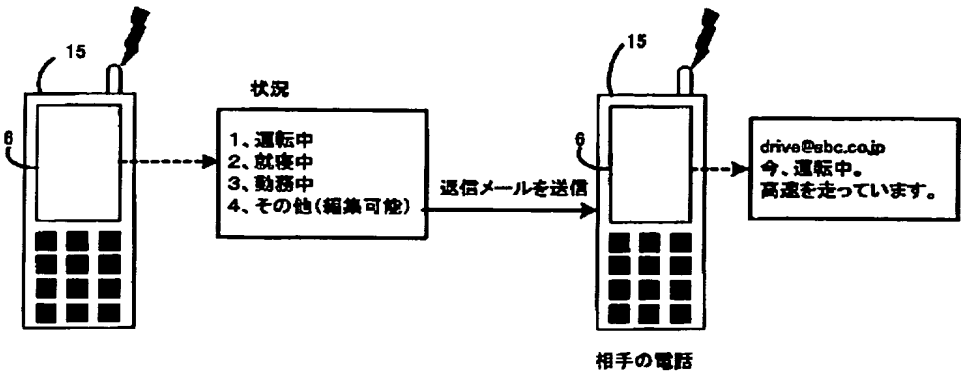
【図 3】



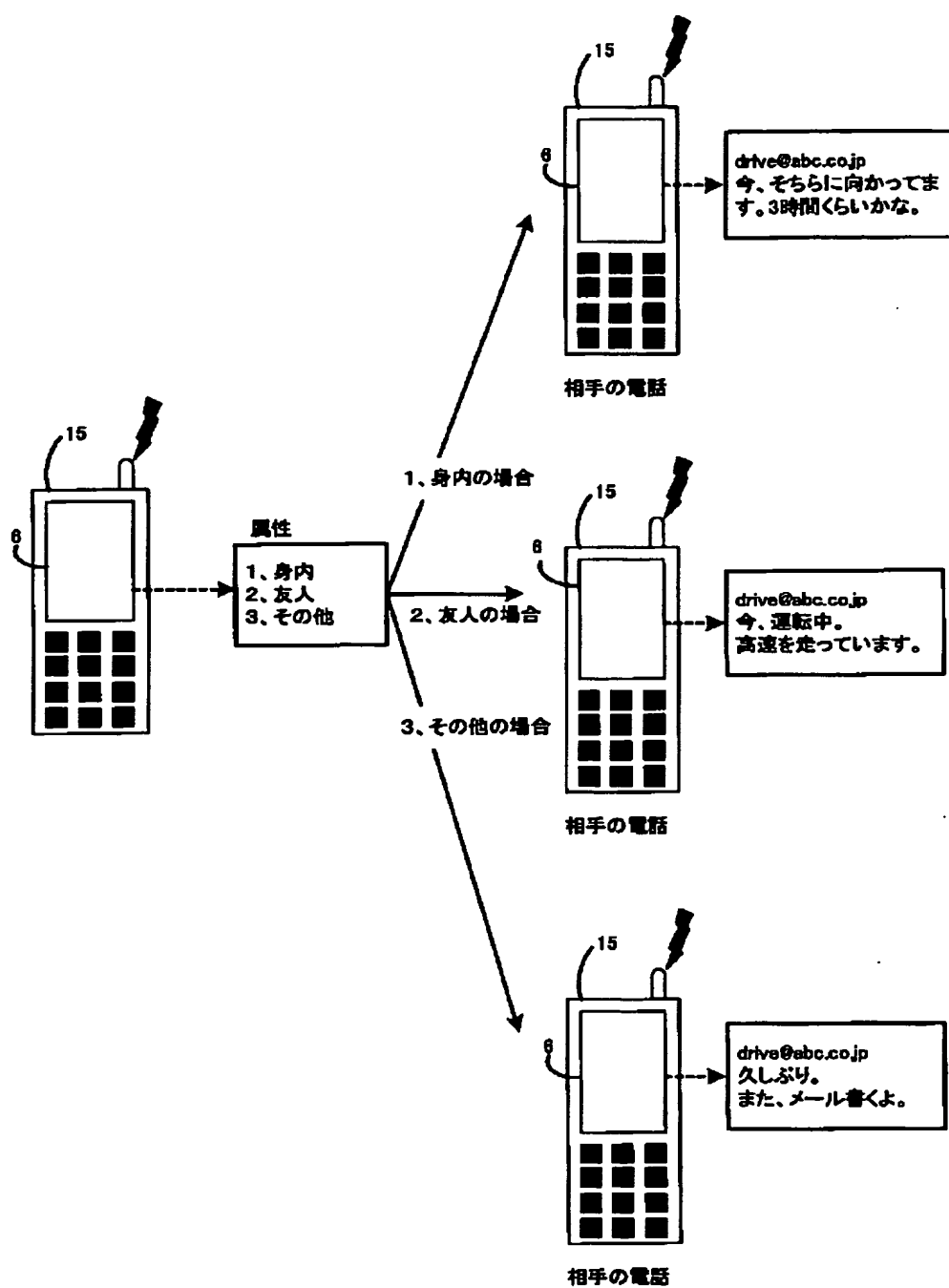
【図2】



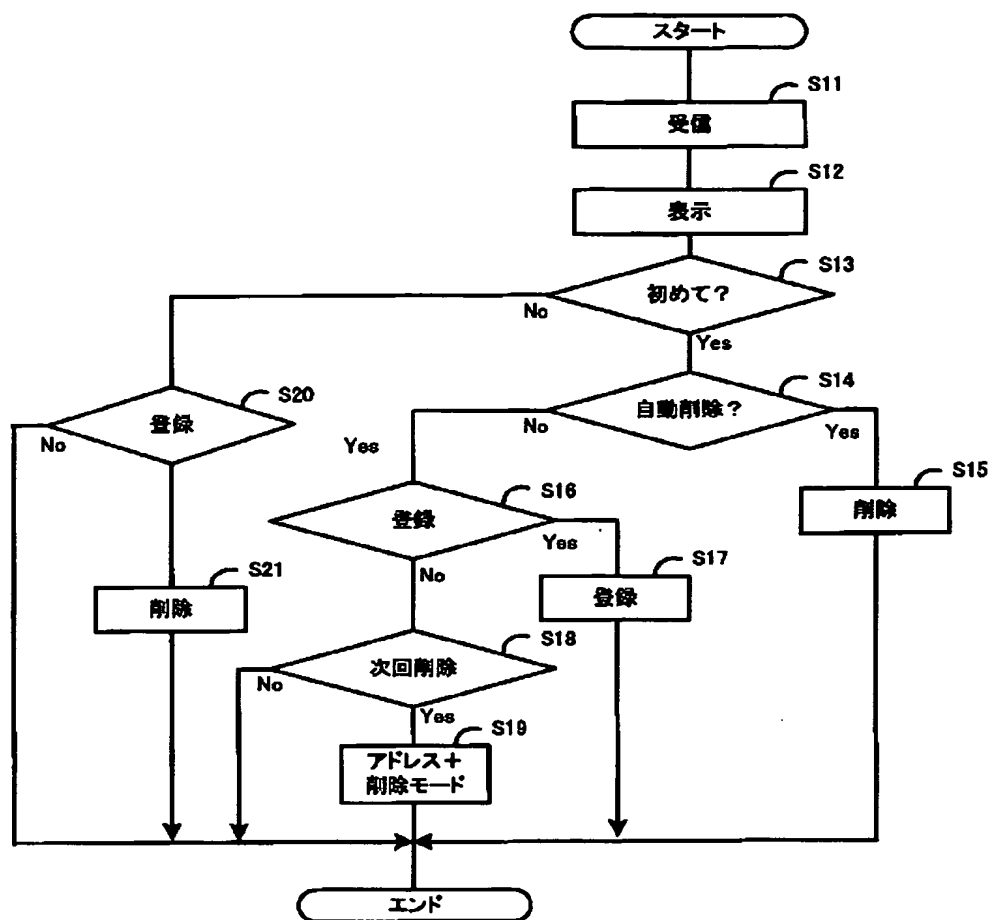
【図4】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁷

H 0 4 Q 7/38

識別記号

F I

H 0 4 B 7/26

テーマコード* (参考)

1 0 9 L

1 0 9 M

F ターム (参考) 5K027 AA11 BB02 CC08 FF22 HH14
HH23 MM17

5K030 GA17 GA19 HA06 HC09 JT09

5K067 AA34 BB04 DD53 GG01 GG11

HH05 HH12 HH14 HH23

5K101 KK02 LL12 NN18 NN21 PP03

PP04 PP09 RR21 SS07